

輝き市民サポートセンター 10周年に寄せて

輝き市民サポートセンター、10周年おめでとうございます。私たち「おはなしのもり」も結成10年を迎えました。同じ年だったのですね。ご一緒に喜びたいと思います。

乳幼児・小学生への読み聞かせから活動が始まり、子供の読書推進活動への参加、ここ数年は大人向けおはなし会にも出演しています。

一億総活躍時代にあって、できる人ができる時にできる事をするボランティア活動を継続し、私たちの生きがい、市民の楽しい時間、うれしい時間をつくるお手伝いになれば良いかと、考えています。

交通至便のセンターを今後も利用させていただきます。ますます市民の力が集まる場所になってください。



No. 16 おはなしのもり

「みらいひろば福生」は改めてスタートします！

「みらいひろば福生」は4月に登録しましたので、もうすぐ1年になります。センター工事中は活動を休んでいたため、正直、まだほとんど本格的な活動をしていません。今回、10年目の節目にあたって、改めてスタートを切ろうと思います。駅からすぐという立地条件を生かして、市民の皆さん、近隣の皆さんが集まっておしゃべりできる、一月に1回顔を見ることが楽しみにするような「ひろば」をつくっていきたくて考えています。

センターへの希望ですが、良い立地条件にあるので、「福生駅に隣接して輝き市民サポートセンターがあるよね！」と周知されて行けばいいなあと思います。



No. 138 コーブみらい みらいひろば福生

センターと共に育った仲間たち

「塾」と言っても一方的に教えるのではなく、相互啓発による写真表現力、鑑賞力の向上を目指して活動しています。会員の多くは、七夕祭り、桜祭り、写真誌等のコンクールで入賞しています。撮影ロケと例会を交互に開催し、例会は偶数月の第2土曜に輝き市民サポートセンターで行います。登録番号が5でセンター設立当初より長い間、お世話になっています。

団体名は「福生写真塾」の名前でしたが、近隣の仲間も増えたので昨年「多摩写真塾」と改名し対象を広げました。「くじけそうになった時も、仲間の励ましで続けることができた」、「品評会で仲間と競うことで勉強になり、技能が身に付いた」、「色々な特技をお持ちの方がいるので、写真だけでなくお互い勉強になる」等が会員の声です。



No. 5 多摩写真塾

これからのセンター利用が楽しみ

10年ですか、過ぎてしまえば早いものですね。開設当初は、センターのネーミングから職の相談をする人が来たと聞いています。暗中模索状態で何をするのか、何をすればよいのかが問われたこの10年かと思えます。このことは私たち登録団体にも同じことが言えるのではないかと考えます。

この先、センターへの希望は公民館との住み分け、講座の充実・他市との交流促進を図っていくことを望みます。ホームページの登録は公民館にはなく、団体の情報の提供・共有など大きなメリットがあります。これにより他市からのアクセスがあり、団体同士の交流が図られています。

ともあれ、これからセンターでの利用がとても楽しみです。

- No. 32 福生アマチュアマジッククラブ
- No. 48 男の台所
- No. 63 ふっさ草笛サークル

10周年によせて

本会は福生市地域体育館を拠点に活動しており、平成24年にセンターに登録し、その補助金を受け講習会を開催しました。

スポーツダーツの運動効果(脳、集中力、身体機能の促進、ストレス解消)は、日頃忘れていた運動不足を目覚めさせ、認知症の予防・改善にも効果ありと認識されており、本会はこれらを啓蒙しコミュニティスポーツとして発展を目指しています。

輝き市民サポートセンター、10周年をお祝いいたします。今後望まれることは、10年の素晴らしい実績もさることながら、これから何をすることが問われます。より多くの市民の英知を結集して、より充実して新たな歴史を築いていくことを望みます。



No. 57 福生市スポーツダーツ協会

老後に俳句の楽しみを！

私達「金木犀」俳句会は、輝き市民サポートセンターを利用させていただき、丁度1年になります。今まで松林会館で勉強してきましたが、私達はみな高齢なので福生駅に隣接という便利さは、とてもありがたいと思っています。初心者ばかりの仲間、講師の澤田弥生先生をお迎えして2年目になります。

「昨日より旨み増したる煮大根」 仁正

これは、奥様を亡くされてやっと料理にも慣れた方の句です。ごく普通の日常を無理ない言葉で詠まれています。毎年定年を迎えられる大勢の方々の中で、俳句に親しみをもたれ日常を歌われる方の老後のお手伝いができたらと思います。

No. 134 俳句会 金木犀

一緒に祝おう！！

輝き市民サポートセンター 10周年

登録団体からのメッセージ

これからもよろしくお願いします

輝き市民サポートセンター10周年おめでとうございます。

私たち「青少年海外派遣OBOG会」は、福生市の青少年海外派遣事業の参加者で構成されています。毎年派遣事業に参加する中学生の皆さんに先輩としてアドバイスをしたり、事業の魅力PRすることに加え、福生市の輝きフェスティバル、七夕祭りに出店し福生を盛り上げる活動に参加しています。

学生の多い団体ですので、打合せの場として輝き市民サポートセンターを利用させていただけることを大変ありがたいと思っています。これからもセンターを利用させていただきながら活動の幅を広げられるよう、頑張っていきます。

No. 84 青少年海外派遣OBOG会

今後の展望

「グミの会」とは、花の写真会です。川崎先生を中心に約15年間の活動実績を持っており、継続は力と思いながら頑張っています。毎年1回、会員提出の写真展をやっており、沢山の方々が見に来てくれます。

花の写真は奥深く、これでは行きませんが、花の持っている彩り、光の陰影の綾、奥ゆかしさ、品格などのより良い写真のための活動を充実させたいと考えています。

会員は老若男女と言いたいです。残念ながら老・男・女であります。花の写真に没頭し、健康寿命を延ばそうと思います。

No. 33 ぐみの会

輝き市民サポートセンターの働き

輝き市民サポートセンター10周年、おめでとうございます。多くの試行錯誤や努力、行政とのやり取り、団体との折衝やセンター独自企画事業と10周年の月日をスタッフの方々は、思い出しておられるでしょう。

私の団体もお世話になりました。ネットワーク懇談会に出席し、他団体の活動内容を知り、地域を巻き込んだ計画をコラボレーション企画で実行させていただきました。センターの働きの一番大切な仕事は、登録団体同士の活動を広げることだと思います。センターの会議室の提供、コピー機の利用、講演会、それぞれ大切であり必要でしょう。登録団体が増えていく中で、団体の紹介はありがたいことでした。また、世相にあった講師と講演は、考えさせていただくチャンスでもありました。そこから、何かが生まれ歩き出す一人ひとりがいると信じています。

ますますのご活躍を祈っております。

No. 9 NPO法人ケアサービスいずみ

節目を通過して

輝き市民サポートセンターを立ち上げた時点から検討会に参加し、わが団体もセンターの発足を機に視聴覚生涯と共生する「ランプシェード」と活動内容を明確にし、市とコラボレーションした音声情報発信活動を行ってきました。これからの団体としての展望は、それぞれ個人としての寿命があり、この節目でリーダーが交代となりました。今後も軌道を維持し、皆さんへ手作りの情報の発信をしてゆきます。

活字文書の音声化情報は、福生市から発信しています。他市からも参加しやすいセンターは最高の場所であり、今後も利用できるように願っています。また、目の不自由な人たちですので、何かとお世話になりますが、よろしくお願いいたします。

No. 45 ランプシェード